

社会共創デジタル学環の教育目標及びディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて

教育プログラムの名称：社会共創デジタル学環

学位：学士（社会共創学）

【教育目標】

山形大学の教育目標を踏まえ、社会共創デジタル学環では、地域課題を俯瞰的に思考するための文理を横断した学際的な専門知識と論理的思考力（学際的思考力）、地域の特性やニーズを捉えるデジタル利活用力、及びビジネス・アントレプレナーシップの視点で多様な人々と協働できるマネジメント力を用いて、地域課題の解決に貢献することができる実践的能力を身に付けた人材を育成することを目標としています。

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

山形大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）のもと、教育プログラム（社会共創デジタル学環）では、基盤共通教育、学環及び既存の学部・学科の専門教育を通じて、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「学士（社会共創学）」の学位を授与します。

1. 豊かな人間性と社会性

- （1）良識ある市民として地域に貢献する意欲をもち、高い倫理観と責任感を伴った行動ができる。
- （2）自ら問題意識を持ち、主体的に学び続け、自身の有する能力を活かしながら諸課題に挑戦することができる。
- （3）多様性を尊重して、異なる背景や能力をもつ人々と協働して社会を共に創ることができる。

2. 幅広い教養と汎用的技能

- （1）文理を横断する幅広い教養と知識を身に付け、多角的な視点で思考することができる。
- （2）他の学生や地域の人々と協働して地域課題の解決に取り組めるチームング力・コミュニケーション力・リーダーシップ・フォロワーシップを身に付けている。
- （3）情報機器の操作能力や情報セキュリティを含む管理能力に加えて効率的な情報発信を行うことができるデジタル利活用力を身に付けている。

3. 専門分野の知識と技能

- （1）人文社会科学、教育学、理学などの細分化された学問分野の専門知識を融合して、複雑な地域課題を俯瞰的に思考することができる。
- （2）デジタルを利活用して地域の特性やニーズを捉え、地域社会における課題の発見や分析、解決のための企画立案を行うことができる。
- （3）アントレプレナーシップやビジネスの視点を持ち、多様な人々と協働して地域における

課題解決とイノベーション創出に挑戦できる

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

山形大学の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に沿って、教育プログラム（社会共創デジタル学環）では、学生が体系的かつ主体的に学修できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 教育課程の編成・実施等

- (1) 豊かな人間性と社会性を涵養し、文系・理系分野の基礎的知識を融合して課題の発見と解決に取り組むことのできる基盤的学力を基盤共通教育において養成する。
- (2) 地域社会の課題解決に資するデータ分析力や新たな地域価値を創造する力を育成するため、デジタル利活用の基礎・実践、地域マネジメントの応用に係る科目を配置する。
- (3) 多様な人々と協働して企画・立案する力や起業などのイノベーションを創造する力を育成するため、マネジメントの論理思考、事業アイデアの創出法、ビジネスプランニング等に係る科目を配置する。
- (4) 地域社会の課題を理解し解決策の立案とその地域での実践力等を育成するため、デジタル利活用力とマネジメント力に係る実践科目を配置する。
- (5) 自身の学びの核となる、文系・理系の学問分野を横断する学際的な専門知識と論理的思考力を育成するための科目群を編成する。
- (6) マネジメント力、デジタル利活用力、文理を横断する学際的な専門知識を総合して地域社会の新しい価値の創造に挑戦する能力を育成するため、実践研究科目を配置する。

2. 教育方法

- (1) グループ学習を充実させ、チーミング力やコミュニケーション力を養い、他者との協働にむけた実践力の育成を促す。
- (2) 授業科目と教育目標の関係を示したカリキュラムマップや授業科目間の関連性を体系的に示したカリキュラムツリー、履修計画と学習成果を明示した学修ポートフォリオ等を展開し、学生の主体的な学びを支援する体制を整える。
- (3) 授業科目をナンバリングすることにより、学習の段階や順序等、教育課程の体系を明示し、学生が自ら理解したうえで授業科目の主体的な選択を促す。

3. 教育評価

- (1) 良識ある市民に求められる知識・技能、主体的・自律的に学修に取り組む態度を評価する。
- (2) 具体的な学修結果と評価基準を示したルーブリックを策定し、明確な成績評価、学生自身による到達度の検証及び自主的・自律的改善を可能にする。
- (3) 学修におけるリーダーシップ・フォロワーシップ、協調性、独創性を評価し、地域の課題解決にむけた実践的な社会共創力の育成を促す。